

## 第1回 野川流域連絡会全体会 開催報告

1. 開催日時：平成22年7月5日(月) 18時00分～20時30分
2. 開催場所：調布市文化会館「たづくり」12階大会議室



第1回 野川流域連絡会（第5期） 会議風景

平成22年7月5日(月)18時より、調布市文化会館「たづくり」大会議室において、第5期第1回野川流域連絡会を開催しました。

大雨警報が発令されたため、行政委員の一部に欠席がありましたが、新任の都民委員・団体委員7名を含む第5期委員50名のうち、都民委員15名および団体委員11名、行政委員14名の40名が出席しました。議事は、(1)流域連絡会の設置について、(2)座長・副座長の選出、(3)第4期の活動報告、(4)意見交換が行われるとともに、座長より野川流域連絡会の歴史として、野川の湧水保全の経緯や3つの原則・7つのルールなどの説明、過去10年の活動のまとめとして「いい川・いい川づくりワークショップ」でグランプリを受賞したこと、第5期の展望などの説明が行われました。

### 3. 議事内容

#### (1) 野川流域連絡会の設置について

事務局提案の第5期野川流域連絡会の「設置要綱」および「運営要領」は、委員の承認を受け、平成22年7月5日から施行されることになりました。

#### (2) 座長・副座長の選出

第5期野川流域連絡会の座長、副座長が委員の承認によって選出されました。

#### (3) これまでの活動報告

水環境分科会、生きもの分科会より、第4期の活動報告がありました。

#### <水環境分科会の活動報告>

- ・ほぼ毎月開催した定例会では、野川流域各地のそれぞれの問題点、発見等を「今月の野川」として報告し、情報交換を行った。
- ・野川上流部の水涸れ問題の解消、安定水量の確保の1つとして、砂川用水から水を受けて、恋ヶ窪用水路を復元し、野川源流域に潤いを取り戻すという提案を国分寺市長に対して行った。
- ・河床への浸透防止対策について、河床の環境改変を少なくし自然を残しながら上流部まで行うには、どのように実施すればよいかを行政と共に検討している。

#### <生きもの分科会の活動報告>

- ・過去10年間継続して、夏季と冬季の生きもの観察会を実施している。生きもの観察会で採取・記録した観察資料は貴重な資料となっている。
- ・「ほたる川」と「ひょうたん川」の維持管理のための補修作業を実施した。
- ・「野川ルール」についてはマスコミにも注目され、新聞などにも取り上げられ評価された。普及啓蒙活動として、野川ルール（冊子）の配布や説明の掲示板を設置した。

#### (4) 意見交換

- ・出席委員が4班に分かれて、新委員の応募の動機や再任委員の抱負等について、質問・意見交換を行った。また、「いい川・いい川づくりワークショップ」の今年度優勝者へ提供する副賞について、野川に相応しい流域の名物等について話し合いをしました。
- ・副賞の（案）  
深大寺そば、お茶、わさび、くじら山クッキー、たづくり最中、国分寺名水の日本酒、野川という日本酒、特別に農家に作ってもらう等の意見が出ました。
- ・野川についての意見・情報  
昔は野川をきれいにするためにグッピーを放流していた。  
府中は雨水浸透マスを設置することによって湧き水が復活してきた。  
小金井ではスクリーンを設置してごみを野川に流さないようにしている箇所がある。  
雨水・河川・下水を含めた水の循環モデルの形成。  
長く住んでいるが野川流連のことは知らなかった広報が少ないのではないか。
- ・分科会等の開始時間を参加しやすい時間帯に再考する等の意見がありました。

#### (5) まとめ

座長から第5期の展望として、第4期の活動の継続と、原点回帰として「野川流域河川整備計画」を見直すことを考えても良いのではないか。また、新しく参加された委員が活躍できる場所、行政委員が自由に発言できる雰囲気・環境づくりについての発言がありました。

#### (6) 報告事項

事務局より、以下の内容について説明がありました。

- ・平成22年度野川における主な工事予定
- ・平成22年夏季「生きもの観察会」の開催案内
- ・新任委員の所属分科会の希望確認、連絡方法の確認について
- ・7月の水環境各分科会、生きもの分科会の開催日時について